

令和元年 8 月 2 日  
日本工学院専門学校

## 学校関係者評価結果

学校関係者評価委員会会議の中で本校の行った平成 30 年度（令和元年度）の自己点検の評価についてすべての項目において了承を得た。評価委員からの主な発言は次のとおりである。

- ・職業実践専門課程について公的な資金援助が実施された事は喜ばしい事である。
- ・各学科の退学率も減少傾向にあり、学生のニーズにあった運営を実施している。
- ・保護者会も多様化している様であるが、引き続き検討してもらいたい。
- ・留学生数が年々増加しているが、留学生に対する専門部署も検討されたい。
- ・片柳ホール（地下ホール）も教育だけではなく、外部企業・団体に対しても積極的に貸し出しを実施している。
- ・大田区主催のイベントに積極的に協力・参加し、地元の地域団体・地元企業・高校に対しても密接に交流を行っている。
- ・経営基盤もしっかりとしており、低所得者に対する修学支援制度（片柳学園給付型奨学金）も根付いていると判断される。

自己評価についてすべてこれらの通りであり納得した。この内容にて了承する。

以上

令和元年9月3日

日本工学院専門学校  
学校関係者評価委員会  
委員長 桂田 忠明 様

日本工学院専門学校  
校長 前野 一夫

令和元年度の学校関係者評価委員会において討議された内容をふまえ、次の4点について検討します。

1. インターン実習の実施や時期について各業界から引き続き意見を伺い、実施方法を模索する。
2. 不足している現場の人員状況を把握し、非常勤講師のあり方について検討する。
3. 片柳ホール（地下ホール）のさらなる有効活用について模索する
4. 増加している留学生に対する専門職員・部署の検討

以上